

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	文章表現基礎講座		授業コード	A030871
担当教員名	坂井 美穂		科目ナンバリングコード	A10303
配当学年	1	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	「基礎学力講座・国語」を合格していることが望ましい			
受講心得	国語辞典(電子辞書も可)を携帯するようにしてください 欠席や遅刻は厳禁 講義時間以外には新聞・雑誌・本を読み、読解力、語彙力をつけるよう心掛けてください また、思考力、判断力、表現力をつけるため、日ごろから文章を書く癖をつけましょう			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	『三省堂国語辞典 第六版』(比較的小型)、江守賢治『漢字筆順ハンドブック 第二版』(三省堂)、小学館辞書編集部(編)『日本語便利辞典』(小学館)、金田一春彦(監修)『手紙の書き方辞典』(学習研究社)、『国語力アップ400問』(NHK出版[生活人新書067])、『国語力もってアップ400問』(NHK出版[生活人新書105])、水谷信子『心を伝える日本語講座』(研究社出版)、加納善光『漢字の常識・非常識』(講談社現代新書954)、池上彰『日本語の「大疑問」』(講談社+α新書6-1 C)、秋月高太郎『ありえない日本語』(ちくま新書524)、金武伸弥『王道日本語ドリル』(集英社新書0428E)、佐竹秀雄『日本語教室Q&A』(角川ソフィア文庫)、鈴木輝一郎『日本語の逆襲』(小学館)、清水義範『日本語がもっと面白くなるパズルの本』(光文社文庫)、樋口裕一『本当に使える!日本語練習ノート』(PHP新書622)、朝日新聞出版(編)『日本語きほん帳』(朝日文庫)。			
関連科目	社会参画入門 社会参画実習1 社会参画応用 社会参画実習2 基礎学力講座・国語 情報リテラシー1・2 英語1・2 コミュニケーション演習 現代社会要論 人間力概論			

授業の目的	変化の激しく多様化する現代社会ではこれまで以上に「書く」力が求められており、大学における日本語教育の一つに文章表現力教育があります。本授業では、高校までに培った国語の基礎力(語彙力・読解力)をもとに、読み手に伝わる文章を書けるようになることを目的としています。短い文章から初めて、繰り返し書く基礎的な練習を行い、最終的に1000字程度の論理的な文章を作成する基礎的な能力の養成を図ります。
授業の概要	本講義では、短い文章(200字)からやや長い文章(1000字)を書く練習を段階的に行っていきます。その際に、読み手に伝わる文章が書けるようにピアレビューを取り入れています。また、継続的に自己学習が続けられるように自らの文章表現力を評価するため自己評価文作成をしてもらいます。第16週目に期末試験(1000字程度の文章作成)を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 講義の進め方、出席の取り方、遅刻・早退の取り扱い、評価の方法などについて説明後、文章表現に関する事前意識調査アンケートおよび「大学入学までの作文学習について(案)(800字程度)」というタイトルで文章を作成してもらいます。	必要に応じ辞書(国語辞典等)を引くこと。
第2週：短い文章の文章作成の練習1 テーマ「 未定 (データを読み取る内容)」 読み取った内容に関して200字程度の文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをもらいます。→メールにて課題提出	
第3週：短い文章の文章作成の練習2 第2週の内容について ① 提出された課題への評価 ② 教員による解説(原稿用紙の使い方、読み取ってほしいポイントなど)を行います。	
第4週：短い文章の文章作成の練習3	

<p>第2、第3週で読み取った内容の大まかな傾向について200字程度でまとめてもらいます。学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → メールにて課題提出</p>	
<p>第5週：短い文章の文章作成の練習4</p> <p>第4週の内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 提出された課題への評価 ② 書き言葉特有の表現および意見文の書き方について解説を行います。 	
<p>第6週：短い文章の文章作成の練習 仕上げ</p> <p>テーマ1について第2週～第5週までの講義をもとに意見文(200文字程度)を書いてもらいます。学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → メールにて課題提出</p>	
<p>第7週：テーマ1に関する総括ならびに第8週の課題説明</p> <p>テーマ1に関する総括ならびに第8週の課題説明を行います。</p>	
<p>第8週：やや長い文章作成の練習1</p> <p>テーマ2「 未定（データを読み取る内容） 」</p> <p>読み取った内容と大まかな内容についてそれぞれ200字程度の文章を書いてもらいます。学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントおよび自己評価文の作成をしてもらいます。 → メールにて課題提出</p>	
<p>第9週：やや長い文章作成の練習2</p> <p>第8週の内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 提出された課題への評価 ② やや長い文章を書くための基本構成モデルの解説を行います。 	
<p>第10週：やや長い文章作成の練習3</p> <p>第8、9週で読み取った内容について、自分の意見につながるタイトルを2つをつけてもらいます。各タイトルについて主題文を200字程度ずつ書いてもらいます。学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントおよび自己評価文の作成をしてもらいます。 → メールにて課題提出</p>	
<p>第11週：やや長い文章作成の練習4</p> <p>第10週の内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 提出された課題への評価 ② アウトラインの作成の仕方と文章展開について解説を行います。 	
<p>第12週：やや長い文章作成の練習5</p> <p>第11週までに作成した内容をもとにトピックスアウトラインの作成を行います。学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントおよび自己評価文の作成をしてもらいます。 → メールにて課題提出</p>	
<p>第13週：やや長い文章作成の練習6</p> <p>第12週の内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 提出された課題への評価 ② 書き言葉特有の表現および時間と字数配分目安について解説を行います。 	
<p>第14週：やや長い文章作成の練習 仕上げ</p> <p>テーマ2に関する1000字程度の文章を書きあげます。学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントおよび自己評価文の作成をしてもらいます。 → メールにて課題提出</p>	
<p>第15週：文章表現基礎講座のまとめ</p> <p>第14週の課題に関する評価および表現スキルについて解説。第16週の期末試験について説明。</p>	
<p>第16週：期末試験</p>	

文章表現基礎講座の総括として1000字程度の作文を課します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	課題に積極的に取り組むことができる
【知識・理解】	文章表現力向上のために、基本的な原稿用紙の使い方、作文の基本的な書き方などが理解できる。 また、不明な場合は調べることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	読み手に伝わる文章表現を心がけることができる。
【思考・判断・創造】	論理的な文章として表現でき、繰り返し推敲し、1000字程度の文章を作成することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	5点	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	5点	10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	10点	10点	

(「人間力」について)

※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	課題の提出 8回×5点(出来具合によっては減点されます)
発表・その他(無形成果)	8回のピアレビューコメント×5点(取り組み具合によっては減点されます)